

関係各位

薬 剤 部 長

医薬品情報第 6 号（令和 4 年度）

令和4年10月12日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は3品目、新規診療科限定医薬品は1品目、新規採用医薬品は3品目、削除医薬品は1品目です。

〔新規試用採用対象医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	イゲザレルト錠 2.5mg	¥117.8/錠	リバーロキサバン	選択的 direct 作用型 第 Xa 因子阻害剤	不可	バイエル
2	ベリプラス P コンビセット 組織接着用 3mL	¥33,459.5/3mL 1 組	-	血漿分画製剤	非該当	CSL ベーリング
3	ピカネイト輸液	¥198/袋	クエン酸ナトリウム水和物 塩化カリウム 塩化カルシウム水和物 塩化ナトリウム 塩化マグネシウム 炭酸水素ナトリウム	重炭酸リンゲル液	非該当	大塚製薬 工場

〔新規診療科限定医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	レミフェンタニル 静注用 2mg 「第一三共」	¥1,003/瓶	静注用レミフェンタニル 塩酸塩	全身麻酔用 集中治療用鎮痛剤	非該当	第一三共

〔新規採用対象医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	オゼンピック®皮下注 2mg	¥11,008/キット	セマグルチド	2型糖尿病治療剤 持続性 GLP-1 受容体作動 薬	非該当	ノボノル ディスク ファーマ
2	サムタス点滴静注用 8mg	¥1,160/瓶	トルバブタンリン酸 エステルナトリウム	V2-受容体拮抗剤	非該当	大塚製薬
3	サムタス点滴静注用 16mg	¥2,169/瓶	トルバブタンリン酸 エステルナトリウム	V2-受容体拮抗剤	非該当	大塚製薬

〔新規院外登録医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	アジレクト錠 1mg	¥953.8/錠	ラサギリンメシル酸塩	パーキンソン病治療剤 (選択的 MAO-B 阻害剤)	可	武田

☆削除対象医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	TRH 注 0.5mg「タナベ」	TSH・プロラクチン分泌ホルモン剤	-	処方実績が少なく最終在庫が使用期限切れとなるため。

*上記、削除対象医薬品について異議がございましたら、令和4年10月31日までに薬剤部薬務(内線 40139)までご連絡下さい。

☆削除医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	ルリッド錠 150	酸安定性・持続型マクロライド系抗生剤	レボフロキサシン錠 500 mg	処方実績が少なく、最終在庫が期限切れとなるため。

*引き続き院外処方が可能です。

☆新規検査用試薬

Flow Clean 洗浄液 500mL

☆Drug Information News(366号、2022.10月号)

1. DRUG SAFETY UPDATE(No.311)
- 2.その他 重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容
ヒドロキシクロロキン硫酸塩 /プラケニル錠	[重大な副作用] 追記 肝機能障害：AST、ALT、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害があらわれることがある。
ラサギリンメシル酸塩 /アジレクト錠	[禁忌] 一部改訂 三環系抗うつ薬（アミトリプチリン塩酸塩、アモキサピン、イミプラミン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ドスレピン塩酸塩、トリミプラミンマレイン酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩及びロフェプラミン塩酸塩）、四環系抗うつ薬（マプロチリン塩酸塩、ミアンセリン塩酸塩及びセチプチリンマレイン酸塩）、選択的セロトニン再取り込み阻害薬（フルボキサミンマレイン酸塩、パロキセチン塩酸塩水和物、セルトラリン塩酸塩及びエスシタロプラムシュウ酸塩）、セロトニン再取り込み阻害・セロトニン受容体調節薬（ボルチオキセチン臭化水素酸塩）、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬（ミルナシブラン塩酸塩、デュロキセチン塩酸塩及びベンラファキシン塩酸塩）、選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害薬（アトモキセチン塩酸塩）、リスデキサメフェタミンメシル酸塩、メチルフェニデート塩酸塩、メタンフェタミン塩酸塩、マジンドール、ノルアドレナリン・セロトニン作動性抗うつ薬（ミルタザピン）、塩酸テトラヒドロゾリン・プレドニゾン、ナファゾリン硝酸塩、トラマゾリン塩酸塩又はアプラクロニジン塩酸塩を投与中の患者 [併用禁忌] 一部改訂

	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	リスデキサンフェタミンメシル酸塩、メチルフェニデート塩酸塩、メタンフェタミン塩酸塩、マジンドール	高血圧クリーゼ等の重篤な副作用発現のおそれがある。本剤の投与を中止してから左記薬剤の投与を開始するまでに、少なくとも14日間の間隔を置くこと。	モノアミン神経伝達物質の分解が抑制され、脳内のモノアミン総量が増加するおそれがある。
	塩酸テトラヒドロソリン・ブレドニゾン、ナファゾリン硝酸塩、トラマソリン塩酸塩、アプラクロニジン塩酸塩	急激な血圧上昇を起こすおそれがある。	カテコールアミンの蓄積をおこし、左記薬剤の交感神経刺激作用を増強するおそれがある。
エレヌマブ (遺伝子組換え) /アイモビーグ皮下注ペン	<p>[重要な基本的注意] 追記</p> <p>本剤の自己投与にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本剤の投与開始にあたっては、医療施設において、必ず医師によるか、医師の直接の監督のもとで投与を行うこと。 ・自己投与の適用については、その妥当性を慎重に検討し、十分な教育訓練を実施したのち、本剤投与による危険性と対処法について患者が理解し、患者自ら確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導のもとで実施すること。 ・自己投与適用後、本剤による副作用が疑われる場合や自己投与の継続が困難な状況となる可能性がある場合には、直ちに自己投与を中止させ、医師の管理下で慎重に観察するなど適切な処置を行うこと。 ・自己投与を適用する場合は、使用済みの注射器を再使用しないように患者に注意を促し、安全な廃棄方法について指導すること。 		
ランソプラゾール /ランソプラゾール OD 錠「トローワ」	<p>[重大な副作用] 一部改訂</p> <p>(効能共通)</p> <p>尿管間質性腎炎：急性腎障害に至ることもあるので、腎機能検査値 (BUN、クレアチニン上昇等) に注意すること。</p>		
ランソプラゾール /タケブロン静注用	<p>[重大な副作用] 一部改訂</p> <p>尿管間質性腎炎：急性腎障害に至ることもあるので、腎機能検査値 (BUN、クレアチニン上昇等) に注意すること。</p>		
ナファレリン酢酸塩水和物 /ナサニール点鼻液	<p>[重要な基本的注意] 追記</p> <p>(生殖補助医療における早発排卵の防止)</p> <p>本剤は、不妊治療に十分な知識と経験のある医師のもとで使用すること。本剤投与により予想されるリスク及び注意すべき症状について、あらかじめ患者に説明を行うこと。本剤を用いた不妊治療により、卵巢過剰刺激症候群があらわれることがある。患者に対しては、自覚症状 (下腹部痛、下腹部緊迫感、悪心、腰痛等) や急激な体重増加が認められた場合には直ちに医師等に相談するよう、あらかじめ説明すること。</p> <p>[重大な副作用] 一部改訂</p>		

	<p>卵巣嚢胞破裂：卵巣嚢胞が破裂することがあるので、観察を十分に行い、腹部膨満感、下腹部痛（圧痛等）等の異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。</p>
<p>アスピリン・ランソプラゾール /タケルダ配合錠</p>	<p>[重大な副作用] 一部改訂</p> <p>尿細管間質性腎炎：急性腎障害に至ることもあるので、腎機能検査値（BUN、クレアチニン上昇等）に注意すること。</p> <p>消化性潰瘍、小腸・大腸潰瘍：アスピリンにより下血（メレナ）を伴う胃潰瘍・十二指腸潰瘍等の消化性潰瘍があらわれることがある。また、消化管出血、腸管穿孔、<u>狭窄・閉塞</u>を伴う小腸・大腸潰瘍があらわれることがある。</p>
<p>レミフェンタニル塩酸塩 /レミフェンタニル静注用</p>	<p>[重要な基本的注意] 追記</p> <p>〈集中治療における人工呼吸中の鎮痛〉本剤の使用に際しては、集中治療に習熟した医師が患者の全身状態を注意深く継続して監視すること。</p> <p>本剤投与中は挿管又は気管切開による気道確保を行うこと。</p> <p>移送を伴う場合には、患者管理に熟練した医師の付き添いのもと、循環動態、呼吸等について継続的な監視体制が整った状況で投与し、循環動態の変動及び呼吸等に特に注意すること。</p> <p>本剤投与中は至適鎮痛レベルが得られるよう患者の全身状態を観察しながら投与速度を調節すること。鎮痛レベル及び鎮静レベルの両方が至適レベルを満たしていない場合は、先に至適鎮痛レベルを満たすように本剤の投与速度を調節した後、鎮静剤併用の必要性の判断を含め、至適鎮静レベルを満たすように鎮静剤の投与速度を調節すること。</p> <p>本剤は鎮静作用を有するため、他の鎮静剤と併用する際には鎮静剤の過量投与に注意すること。</p> <p>長期投与後の急激な投与中止により、頻脈、高血圧等の離脱症状があらわれることがあるため、投与を中止する場合には、用法及び用量を遵守し、徐々に減量するなど慎重に行うこと。</p> <p>[重大な副作用] 一部改訂</p> <p>筋硬直：発現は本剤の投与量及び投与速度に関連するため、本剤の単回静脈内投与は 30 秒以上かけて行うこと。また、麻酔導入時に発現する過剰な筋硬直に対しては、筋弛緩剤の追加投与による治療を行うこと。</p> <p>低血圧、血圧低下：本剤の投与速度の減速、若しくは併用する全身麻酔剤又は鎮静剤の投与速度の減速又は投与量の減量を含め、輸液、昇圧剤の使用等適切な処置を行うこと。</p> <p>徐脈：本剤の投与速度の減速、若しくは併用する全身麻酔剤又は鎮静剤の投与速度の減速又は投与量の減量を含め、輸液、昇圧剤、アトロピン硫酸塩等の副交感神経遮断剤の使用等適切な処置を行うこと。</p>

☆その他

① 医薬品の供給について

出荷状況	医薬品名	現状・理由	対応
出荷調整解除	ムコサールドライシロップ 1.5%	安定供給の体制が整ったため出荷調整解除となる。ムコサール錠 15 mgは出荷調整継続。	—
限定出荷	スルペラゾン静注用 1g	他社製品の供給体制の影響を受け、需要増加が続いており安定供給に支障をきたす為限定出荷となる。	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。
	チエナム®点滴静注用 0.5g (限定採用)	他社製品の供給体制の影響を受け、本年 8 月以降、需要増加が続いているため限定出荷となる。	在庫の確保を図るが、在庫が消尽した場合は院内マスタ停止。
	ナサニール点鼻液 0.2%	海外の原薬製造所において、有効成分ナファレリンに品質の疑義が発生したが、調査の結果品質への影響はなかった。調査により製剤の出荷スケジュールに遅延が発生したことにより限定出荷及び出荷停止となる。出荷再開時期は 2023 年 1 月末を予定。	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。在庫消尽次第、院内マスタ停止。販売再開後に院内マスタ再開予定。代替薬はブセリン点鼻液 0.15%「F」であり、必要な場合は患者限定医薬品として対応予定。
	ニトラゼパム錠 5 mg「テバ」	需要増加が続いており安定供給に支障をきたす為限定出荷となる。安定供給体制が整い次第、限定出荷解除。(時期は未定)	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。
	ピオグリタゾン錠 15mg「タナベ」	15mg 製剤の安定供給を優先するため、限定出荷(出荷数割当運用)となる。	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。
	ミカファンギン Na 点滴静注用 50mg「ニプロ」	需要の増加に伴い製造委託先の製造能力、今後の製造スケジュールに伴う在庫の確保が困難となるため限定出荷の対応となる。限定出荷解除時期は未定。	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。
	リン酸コデイン散 1%「ホエイ」	コロナ渦での需要増大により一時的に、出荷調整。当院の場合も割り当て出荷状態。	在庫の確保を図り、院内の安定供給に努める。
出荷停止	ナサニール点鼻液 0.2%	2022 年 11 月以降在庫消尽次第、出荷停止。出荷再開は 2023 年 1 月末予定。	販売中止に伴い院外マスタ停止予定。院内マスタは在庫消尽次第マスタ停止。出荷再開後に院内・院外マスタ再開予定。
販売停止	テルビナフィン錠 125mg「NP」	弊社諸事情により、在庫消尽次第、製造販売を中止。	経過措置期間満了日:2024 年 3 月末を予定。院内の在庫消尽次第、代替医薬品であるテルビナフィン錠 125mg「タナベ」へ変更を予定。

	バルサルタン錠 40 mg 「タナベ」	弊社諸事情により、在庫消 尽次第、製造販売を中止。	経過措置期間満了日:2024年3月末を予定。 院内の在庫消尽次第、代替医薬品であるバルサ ルタン錠 40 mg「TCK」へ変更を予定。
	バルサルタン錠 80 mg 「タナベ」	弊社諸事情により、在庫消 尽次第、製造販売を中止。	経過措置期間満了日:2024年3月末を予定。 院内の在庫消尽次第、代替医薬品であるバルサ ルタン錠 80 mg「TCK」へ変更を予定。

以上